

第1学年国語科 学習指導案

1 単元名

論理的な文章の内容や構成、論理の展開について理解し要旨を把握しよう

2 本単元の目標

(1) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。

〔知識及び技能〕(2)ア

(2) 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

〔学びに向かう力、人間性等〕

3 言語活動の設定

論理的な文章を読み、主張と論拠との関係に着目して要約する。

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア)

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① (1) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2) ア)	① 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(C(1)ア)	① 論理的な文章の要約を通して、主張と論拠との関係について理解し、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することに向けて粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

5 単元の指導計画

○は指導に生かす評価 ◎は記録に残す評価

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価及び評価方法
1	1	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 問題(課題) 本文を読んで、段落構成や論の進め方について考えよう。 ・本文を通読した上で内容を確認し、段落構成や論の進め方について考える。 まとめ(結論) 段落は4段落構成で、二項対立による論の進め方をしている。				知①：【記述の点検】ノート 4段落構成や二項対立による論の進め方に気が付いているかを点検する。
	2	・第1段落を読解する。 問題(課題) 「鹿おどし」の具体的な動きと、それに対する筆者が感じ取ったことを捉えよう。				

		まとめ(結論) 「鹿おどし」の単純な、緩やかなリズムが無限にいつまでも繰り返される動きに、人生のけだるさのようなものと流れてやまないものの存在を感じ取っている。	◎		知①：【記述の点検】ノート 「鹿おどし」と「流れてやまないもの」の関係についての的確に理解しているかを点検する。
2	3	・第2段落を読解する。 問題(課題) 西洋の「噴水」の特徴を捉え、「鹿おどし」と比較しよう。			
		まとめ(結論) 西洋の「噴水」は空間の中に造型として静止しているいわゆる「空間的な水」であるのに対し、「鹿おどし」は「時間的な水」である。	○		思①：【記述の点検】ノート 「空間的な水」と「時間的な水」という対比的な捉え方を理解しているかを点検する。
4		第3段落を読解する。 問題(課題) 日本人が「噴水」を作らなかった理由を読み取り、「鹿おどし」(日本人)と「噴水」(西洋人)の水に対する捉え方の違いを考えよう。			
		まとめ(結論) 日本人が「噴水」を作らなかったのは、日本人にとって水は自然に流れる姿が美しいのであり、西洋人のように水を造型の対象としなかったからである。	○		思①：【記述の点検】ノート 日本人が「噴水」を作らなかった理由を読み取っているかを点検する。
3	5	第4段落の内容読解を行う。 問題(課題) 「目に見えない水と、目に見える水」というフレーズから日本人と西洋人のものの感じ方の違いを考えよう。			
		まとめ(結論) 日本人は形ないものを恐れない感性をもっているのに対して、西洋人は形ないものに手を加えて造型し、目に見える形で表現することで楽しむ感性をもっている。	◎		思①：【記述の点検】ノート 日本人と西洋人の水に対する好みの違いをもとに、日本人の感性の特質を読み取っているかを点検する。

6 本時	・グループで互いの要約を読み合い、話し合いを通して、より良い要約にする。 問題(課題) 本文の内容を、120 字以内で要約しよう。 ・本文の内容を 120 字以内で要約する。(個人ワーク) ・グループで互いの要約を読み合い、ポイントをおさえているか、内容を相互にチェックして話し合う。 ・グループでの話し合いをもとに、より良い要約になるよう書き直す。(個人ワーク) まとめ(結論) ～本文の要旨を 120 字以内で記述～ ・本単元の学習を振り返る。 ・次時の単元について聞く。			◎ 態①：【記述の分析】ワークシート、振り返りシート グループでの話し合いを通して、より良い要約になるよう取り組んでいるかを分析する。
----------------------------	--	--	--	---